

JARL
倉敷クラブ報

第234号

2001年6月9日(土)



JARL登録 倉敷クラブ (登録番号 31-1-1)

クラブ局 **JA4YAB**

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 若林広征 (JH4GNE)

〒710-0814 倉敷市石見町2-30 ☎086-425-3355

目 次

はじめに	JH4GNE	1
AWARD VIEWS	JA4XZR	2
第8回パソコン勉強会に参加して	JK4JFP	4
第43回JARL総会出席記	JA4KI	5
CQ local	JH4EOV	7
JARL総会に参加して	JG4BCG	8

次回定例MEETINGのお知らせ

日 時： 平成13年8月11日(土) 18時30分～20時30分
場 所： 市内白楽町 倉敷商工会議所 (駐車場有り)
[当日 入口の案内板にて会場をご確認下さい]
次回以降の定例MEETING予定月/日 、10/13、12/8

倉敷クラブ管理レピーター局

JR4WH 439.76MHZ (運用責任者：JH4EOO)
JP4YCK 1292.58MHZ (運用責任者：JA4AXM)

倉敷クラブ役員

会長(代表者)	JH4GNE	アワード担当	JA4XZR
副会長	JI4GAU	クラブ報担当	JA4AJB
庶務担当	JH4EOV	クラブ報担当	JH4EOO
会計担当	JH4DDG	ミーティング担当	JR4BXX
会計監査	JA4KI	ミーティング担当	JG4BCG

クラブ報の原稿は奇数月末までになるべく早めにお送りください
なお、1ページ分の大きさは表紙の外枠の寸法内に収めてください
クラブ報担当：JA4AJB, JH4EOO

クラブ報の配布はミーティングにご出席者各位お持ち帰りを原則としておりますので、ミーティング欠席の場合には代理で受け取られる方へご依頼下されませうお願いします。

はじめに

de JH4GNE

4月14日のクラブ定例ミーティングで参加局15名委任状11名の参加により定例総会が成立し、その総会にて4月度のクラブ報にある平成12年度の会計報告並びに事業報告が承認されると共に2月のクラブ報に同封した郵送投票方式による平成13、14年度クラブ役員がクラブ報にある形で承認され無事終了しました事を報告いたします。新年度の役員一同新しい企画を検討しながら従来の

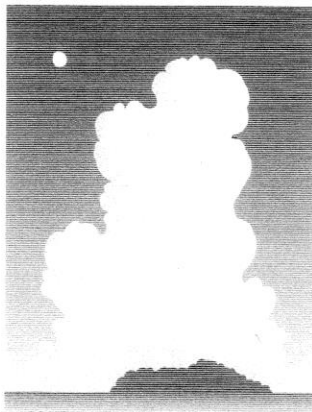


行事を踏襲して今後2年間よりよいクラブになるようにがんばっていく覚悟ですのでご協力をお願いいたします。

また、5月26・27日には他のコーナーにあると思いますが無事JARL富山総会にも参加してきました。ご参加された局にはお疲れさまでした。来年は岐阜総会だそうですのでまた参加できそうです。今からミーティング担当の方に企画立案をお願いしたいものです。Hi

今回は元クラブ員の墓参も兼ねましたので盛りだくさんの内容でした。(大多数の参加者にはご迷惑をおかけしました)総会はまた例年と同じく最後まで居られませんでしたのでJARLニュースを見るまで結果は分かりません。

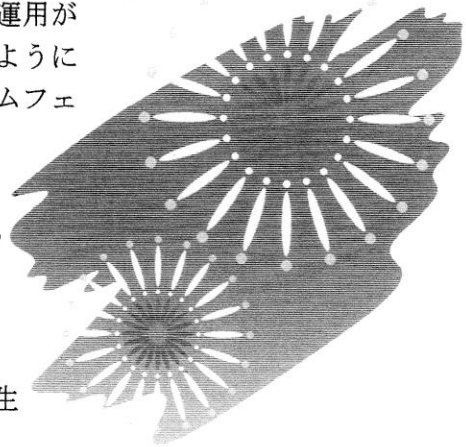
7月には例年通り倉敷天領夏祭りで公開運用が有りますので積極的にご参加していただくようお願いいたします。7月には尼崎市で関ハムフェ



ステバルも有りますので色々楽しめます。

倉敷クラブのパソコン勉強会もお忘れなく。新Cityも誕生しています。

JCC等アマチュア無線活動もお忘れのないようにしてFB DX 活躍下さい。



73

J A 4 Y A B A W A R D V I E W S

de JA4XZR

【第43回JARL通常総会参加とJA4REK墓参の報告】

昨年は開催地が8エリア函館市だったので、合同では参加できなかったが、今年は開催地が9エリア富山市に決まった時から検討していたので、移動ミーティングを兼ねてマイクロバスで大挙して北陸路へ出かけることが決まりました。

遠さでは長野市へ出かけた時に匹敵し、今までの最長距離ではないでしょうか。

今年はゆっくりするために出発が前日の午後1時となり、クラブ員13名、ゲスト5名その中にYL局2名も加わり、和気あいあいの雰囲気で行って参りました。

JARL通常総会のことについては、他の方が書いて下さると思いますので、私はオプションの方を中心に報告させていただきます。



実は私的なことで申し訳ないのですが、今回の富山紀行のもう一つの目的は、かつて水島の日本ゼオンに赴任中、JA4YAB倉敷クラブのメンバーとして活躍されていて、富山へ帰任されてからもずっと交流があったが、10年前に不帰の人となったJA4REK (exJA9BFK) 塩谷清志さんの墓参りをすることでした。

墓参の同行者はJH4GNE若林さんとJH4E00平松さんでした。

富山と高岡は近いので、最初のプランでは総会の途中に中座して高岡まで車を飛ばして往復しようと考えていたのですが、他の参加者の方の午後の観光コースとラップすることができましたので、マイクロバスの案内がてら先導しました。

事前に打ち合わせていたので、塩谷さんと共通の友人であるJA9AIG増山夫妻が、お忙しい中を時間を割いてつきあって下さり、マイカーで誘導していただいたのでスムーズに移動ができ助かりました。

増山さんともアマチュア無線を通じての長いつき合いの間柄ですが、今回はじめて聞いたエピソードは、塩谷さんが亡くなったその日にクラブ報を届けに訪れて会ってお

られたとのことで、これも奇しき因縁です。もっとも塩谷さんは倉敷へは亡くなる3ヶ月前のG、Wに我々に会いに来て、拙宅へ泊って帰っておられます。後から考えると俗にいう虫の知らせとでもいうか — 別れにきてくれたのかも知れません。

増山さんも塩谷さんも、今回の総会ではホストクラブとして誘導を担当したJARL高岡クラブ（JA9YNN）のメンバーなので、総会の開会前に高岡クラブのブースで、副会長他のクラブの方とも故人の思い出話をすることができました。倉敷クラブでも高岡クラブでも、皆さんに好かれていた彼の人柄が偲ばれるひとときでした。

故人の眠る墓地は、国定公園「二上山」（標高230m）の中腹で富山湾を隔てて立山連峰が一望できる場所にありました。

墳墓の地に佇み、眼前に彼と一緒に登った「雄山」を眺めた時、思わず目頭が熱くなりました。越中富山の男は「一生の内に一度は雄山に登る」という習わしだそうです。私達は彼が物故する9年前の1982年8月14日に立山へ出掛けました。

あの時、年も一番若く、一番元気で先頭に立って案内してくれた人が、先に亡くなるということにも「人生の無常」をつくづく慨嘆させられるものです。

道程の途中なので、小矢部川の辺りの塩谷さんの生家にも立ち寄り、仏前に香華手向け、奥様と3男1女の遺児の内のお二人にお逢いすることができました。

一番下のお子様もう成人式を迎える年頃に成っておられたが、ここまでの10年間の奥様のご苦勞はさぞかし大変だったと思い、改めて歳月の経過を感じられました。

彼との私の出会いは、まさに『一期一会』であり、富山の四季を愛して自ら望んで富山へ帰ってからの生涯を、僅かな時間だったが最愛の奥様、お子様、地元の友人増山夫妻や若林さん、平松さんと語り合うことができ本当に良かったと思いました。



閑話休題、しめつばい回顧談はここまでとして、今回案内した高岡市の『万葉ライン — 国定公園二上山』と、羽咋市の『千里浜・なぎさドライブウェイ』は参加されたクラブの方に満足していただけたようでお誘いした甲斐がありました。どちらも大部分の方が初めての場所であり、『なぎさのドライブウェイ』では、運転を担当して下さったJG4BCG小塚さんが見事なハンドルさばきで、日本海の中を水しぶきを上げながら車を走らせて下さったので、初体験の方は驚かれもし歓ばれました。

富山県（越の国）は我が郷土岡山県（吉備の国）と同様、古くから開けていた土地であり、高岡の二上山は「万葉集」に数多く登場し、越中国司だった「大伴家持」の歌に詠まれている名勝であり、現在では市民の憩いの場として親しまれています。

富山市のテクノホールのJARL総会の会場に居たのは、記念写真撮影までの4時間でしたが、今年も懐かしい全国の先輩や友人たちとの出会いがあり、久澗を叙述することができFBでした。

そして「弁当を忘れても傘を忘れるな」と言われている「北陸路の旅」で、二日間とも天候に恵まれたことは何よりの幸運でした。

今回は休憩時間を含んで片道7時間もの長距離ドライブなので、運転を下さった小塚さんとJR4BLR難波さんはさぞかしお疲れだったことと思います。

乗せていただいた我々は、時にはマイクを持ったり、お喋りに興じたりしての楽しいツアーでした。ゲストで参加された方からも「今まで経験したことのない楽しい時を過ごすことができました」とお礼状をいただいています。

ドライバーそしてミーティング担当の役員、参加された皆さん有り難うございました。来年の岐阜行きが今から楽しみです。参加できるように頑張ります。

第8回パソコン勉強会に参加して de JK4JFP

平成13年4月22日川入会館にて第8回パソコン勉強会が開催され、私は初めて参加させて頂きましたが、とても和やかな雰囲気の中で1日を楽しく過ごすことが出来、有り難う御座いました。



(川入会館にて)

第43回JARL総会(富山総会)出席記 J A 4 K I / JA1BRP吉岡 謙

5月27日富山市内のホテルで目を覚ました。富山へは一昨日からきており、9エリアでの総会は、金沢・高岡・福井・金沢に続いて5回目である。私が総会に出席するのはJARLが法人になる前を入れて、これで連続44回目になる。昨日は11時から評議員会があったので、同じホテルから評議員会場へ歩いて行ったが、ものすごく暑く、汗びっしょりになった。しかし今は曇っており、少しは凌ぎやすいことだろう。

夕べ富山駅前のバス乗り場で、総会場の近くを通るバスの時刻を調べたら、富山駅前発8:10と9:10があった。しかし会場までの所要時間が分からないので、8:10に乗ることにした。バス乗り場へ着いたらまだ時間に余裕があるので、途中でもよおしたときの用心に、富山駅のトイレで用を足すことにして、トイレへ向かって歩いていたら、駅の集札口を出たところに、総会場への案内所ができていのが見えた。立ち寄って尋ねてみたら、バスの系統は、昨夜私が調べたものでOKで、バスは9:10までないということだった。しかし9:10では開会ぎりぎりに着きそうな気がしたので、昨夜の私の調べたものを信用することにしてバス乗り場に戻った。

バス乗り場には常連の顔が見え、案内所で、ないといわれた8:10のバスは、定刻に発車した。約25分で産業展示館口バス停に到着し、410円を料金箱に投入してバスを降りた。そこには地元の人たちが案内に出てきてくれており、JA9AXLさんから、帰りのバスの時刻表などをもらうことができた。バス停から歩いて5分ほどで会場に到着したが、受付は9時からとのことで、多くの人々が入口の外で久しぶりの再会を喜んでいて。私も、JA4DDA・JA4BBE・JA6AX・JA9BEさん達と挨拶を交わした。しかし、毎回入り口近くにある、JARL総会の大きな立て看板は、今年はなく、看板の前での記念撮影は、できなかった。

9時になり受付が開始され、入場券を渡して資料の入った紙袋をもらったが、いつものCQ ham radio提供の大きな下げ袋ではなく、コンベンションビューロー提供の、A4の資料が入る大きさの、かわいいものだった。中に、恒例の記念品や総会記念誌、メーカーのカタログなどはなかった。コールサインを書いて胸につけるプレートに、コールサインを書こうとしたが、サインペンの数がやたらに少なく、長い順番待ちの後ようやくのことでコールサインを記入し、胸につけて入場した。私宛の委任状は、57通だった。

昼の弁当を注文したり、JA1BRPのQSL転送手数料を支払ったりしていたら、昨日からバスを借りて来ている、JARL倉敷クラブの皆さんとお会いすることができた。富山総会の特設局8J9TYMともQSOした。

総会は、10時に開会された。舞台は緞帳もなにもなく丸見えである。司会者から来賓とJARL役員が紹介され、JA9AG JARL北陸本部長の歓迎の挨拶・JA1AN JARL会長の挨拶、北陸総合通信局長寺崎 明氏と富山県知事(代理 出納長澤田敏博氏代読)から祝辞があった。祝電披露が行われ、参議院議員関谷勝嗣氏・松前達郎氏、総務省総合通信基盤局長金沢 薫氏、IARU第3地域議長フレッドジョンソン氏からの祝電が披露された。表彰式は、山岳関係非常通信によって社会福祉に貢献した会員、永年会員、コンテストクラブ対抗第1位への表彰が、JA1AN会長から行われた。JARL倉敷ク

ラブ関係は、30年表彰ではJ A 4 K G F・J A 4 O O Y、40年表彰ではJ A 4 K C各氏のコールサインが、議案書にあった。

短い休憩をとって舞台の様態替えが行われた後、10時50分過ぎに再開された。

総会成立審査は、現在出席者1,085名、有効委任数21,419名、合計22,504名で、総会は成立した。11時前に、議長団等が会長から指名され、議長にはJ A 9 L J、副議長にはJ A 9 A A Oの各氏が、書記にはJ A 9 I P J・J A 9 T M Xの両氏が、議事録署名人にはJ A 2 M Y A・J A 9 L C・J A 9 A V Aの各氏が選出された。

11時過ぎに、第1・2号議題が一括上程され、J M 1 M N W専務理事から説明が行われ、議事がスタートした。冒頭議長から、「身障者の方より質問があるが、質問順位がかなり後になっている、後の都合がおありのようなので、質問順位を変更して、最初に質問してもらってよいか。」と諮られ、異議無く身障者の方からの質問でスタートした。

12時少し前に、質問者のきりのよいところで、昼の休憩のため議事は中断された。

記念撮影のために外へ出ると、撮影場所は大変すいており、最前列の椅子にわずかな人がいるだけだったので、2列目に立った。今までの総会で、このように前の方に並んだのは初めてであった。いつも後ろの方で、写真を家族に見せて私を捜させても、なかなか探し出してもらえないものばかりだった。ところが、なかなかシャッターがきれいなようで、撮り終えるまでの時間は、今までの総会で最長だったと思う。原因は、「融雪装置から左は入りません」と再々注意されるのだが、その融雪装置なるものを、我々は知らない為だったと思う。あらかじめ、地面に線でも引いてあればよかったのではなかろうか。

休憩時には、2Fで行われているアマチュア無線機器の展示を見学したり、1Fの臨時店舗で土産を買ったりした。朝開会されて以来、舞台下手のOHPに、4エリアの某県支部長を呼び出す表示がずーっと出ていたが、呼び出せないらしく、呼出主が、同じ4エリアの人ということで、私のところへ尋ねてきた。しかし、私もその支部長には、今日はお目にかかっておらず、そのことを話したら、呼出主は、寂しそうに私から離れていった。

13時に議事が再会され、第1・2号議題が賛成多数で承認されたのは、15時半頃だった。

第3号議題が、J M 1 M N W専務理事から説明され、質疑応答の後採決が行われて、定款改正は賛成10,814票、反対1,162票で承認された。定款によって、定款改正には出席者の3/4以上の賛成が必要であるために、定款改正だけを別に裁決したのである。規則や規定の改正は、挙手多数で16時半頃承認された。

第4・5号議題は一括上程されて、4号議題はJ A 1 A N会長が、5号議題はJ M 1 M N W専務理事がそれぞれ説明して、質疑応答の後賛成多数で承認されたのは18時40分頃だった。

その後次期開催地の2エリアへの引継が行われ、次期総会への参加が呼びかけられた。

最後に、実行委員会代表者J H 9 U D I氏の挨拶があり、全部終了したのは19時前であったと聞いている。

富山駅で帰りの列車に乗り、富山駅の集札口を見ていたら、その上に、J A R L総会参加者を歓迎する、コンベンションビューローの大きな横看板があった。あわててシャッターを切ったが、同時に列車が発車した。倉敷へは28日になって帰着した。来年は、富山の隣県の岐阜で開催される。多くの方々の参加を願っている。

(JARL倉敷クラブ報No. 234原稿別刷2001.6.4(C) J A 4 K I)

◆JARL倉敷クラブ 通常総会の報告

- ・平成13年4月14日(土)18時30分より倉敷商工会議所 会議室で行われたJARL倉敷クラブの定例ミーティングにつづいてクラブ定款14条により通常総会を開催しました。

JR4BXK 衛藤さんの議長運営によりJH4GNE 若林会長の挨拶に始まり事業報告、そして各担当役員の報告があり質疑応答後、出席者全員の拍手にて承認され無事総会を終了しました。

- ・平成13年～平成14年度 役員の業務担当

会長(代表者)	JH4GNE	ミーティング担当	JR4BXK
副会長	J14GAU	ミーティング担当	JG4BCG
会計担当	JH4DDG	クラブ報担当	JA4AJB
会計監査担当	JA4KI	クラブ報担当	JH4EOO
アワード担当	JA4XZR	庶務担当	JH4EOV

◎ お知らせ

- ★4月のパソコン教室を4月22日に、JA4BLO出羽さんのお世話を頂き川入会館にて開催しました。
- ★6月のパソコン教室は、6月10日(日)09時00分～ 場所は川入会館。
- ★7月のパソコン教室は、7月15日(日)09時00分～ 場所は同じく川入会館を予定しています。

(変更ある場合は、毎週土曜日の21時からのミーティングでその都度連絡します)

- ★今月のクラブ報に庶務受付資料により「2001年度JARL倉敷クラブ員名簿」を調製添付しています。

次の局は、会費未納により除いています。

JG4GAD JN4DLJ

—以上—

J A R L 総会に参加して

d e J G 4 B C G

今回の参加は今までとは少し変わって皆さんの時間調整がうまくいって、26日の昼頃に出発出来るようになりました。

又、今回は無線をしながら行くことになり、早めにマイクロバスを取りに行き衛藤さん宅の前で無線機の取り付けを行い12時52分頃に市役所東に行き参加者の到着を待ち、定刻の13時に出発して、平松宅 若林宅 倉敷駅北口を回り参加者18名を乗せて倉敷を後にしました。

最初の予定では京都の宇治の平等院を見学して行く予定でしたが京都に近くになるにつれて時間的に無理があるようなのが分かり見学は中止して富山市へ直行することに皆さんの意見がまとまりそのまま通り過ぎました。

途中停滞もなく順調に走り富山市に21時30分頃に着きました。インターネットで調べていた富山市の健康ランドに入り仮眠をすることにしました。

仮眠室では「うし蛙」がいたみたいで皆さんこれには悩まされたようです。関係ない方もおられましたが・・・

翌朝8時30分頃健康ランドを出発してJ A R L 総会の会場へは10分ほどで着きました。

受付をすませ10時の開会まで皆さんは思い思いの時間を有効に過ごされたようです。総会は式次第にそって順調に進みました。

最後までおればよかったです、次の予定もあるので途中で退場して会場をあとにしました。富山市から高岡市、氷見市を通過して「千里浜・なぎさのドライブウェイ」の海岸（砂浜）を車で水際を走らせてみましたが本当に砂浜なのに埋もれもせず舗装道路と変わらないのには驚きです。皆さんも感動されたようです。

23時30分頃予定どおり全員無事に帰ることが出来ました。疲れましたが楽しいJ A R L 総会の参加となりました。